【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の２第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年10月30日
【事業年度】	自　平成26年１月１日　至　平成26年12月31日
【会社名】	ナティクシス （Natixis）
【代表者の役職氏名】	ホールセール・バンキング部門グローバル・マーケット事業分野内 フィックスド・インカム、グローバルヘッド アラン・ガロワ （Alain Gallois, Global Head of Fixed Income within the Global Market Business Line of the Wholesale Banking）
【本店の所在の場所】	フランス、75013 パリ市ピエール・マンデス－フランス通り30番地 （30, avenue Pierre Mendès France, 75013 Paris, France）
【代理人の氏名又は名称】	弁護士　黒 田　康 之
【代理人の住所又は所在地】	東京都港区元赤坂一丁目２番７号　赤坂Ｋタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-1000
【事務連絡者氏名】	弁護士　井 上　貴 美 子 弁護士　阿 部　え り 香 弁護士　安 藤　翔
【連絡場所】	東京都港区元赤坂一丁目２番７号　赤坂Ｋタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-5873 03-6888-1118 03-6888-1172
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

１ 【提出理由】

平成27年５月29日に提出いたしました平成26年12月31日に終了した事業年度に係る有価証券報告書（訂正を含む。）の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

２ 【訂正事項】

訂正を要する箇所及び訂正した箇所には下線を付しております（なお、当初提出いたしました有価証券報告書において付されていた下線は、訂正した箇所を明示するため、本有価証券報告書の訂正報告書においては表示しておりません。）。

第一部 【企業情報】

第１ 【本国における法制等の概要】

１ 【会社制度等の概要】

（１）【提出会社の属する国・州等における会社制度】

＜訂正前＞

（前略）

h) 経営及び運営

（中略）

(ⅱ) 業務執行役員会及び監督委員会

（中略）

取締役の契約上の利益

（中略）

フランス法上、通常の業務において締結された通常の条件でない関連当事者間取引は、最終的に、かかる取引に関する法定監査人の特別報告書が提供された後の年次株主総会（又はこれに関して開催されたその他の定時株主総会）に出席し、又はこれに代理出席した株主の過半数票により承認されなければならない。利害関係者はかかる投票に参加することができず、その有する株式は、当該投票に係る定足数及び多数決の計算において算入されない。ただし、フランス法に基づき、かかる関連当事者間取引は、取締役会の承認を得た場合には有効となる。かかる取締役会の事前承認がない場合、次の株主総会において承認されない限り、当行にとって不利益ないかなる契約も無効であると宣言することができる。利害関係者はまた、民事責任を負う。一度取締役会により正式に承認されると、（不正行為として失効させられない限り）関連当事者間取引は有効で、次回の株主総会において承認されなかったとしても、第三者に対する効力を有し続ける。関連当事者及び（必要な場合には）その他の取締役は、この場合、かかる取引の結果当行が被った損失に対して責任を負う。

（後略）

＜訂正後＞

（前略）

h) 経営及び運営

（中略）

（ⅱ）業務執行役員会及び監督委員会

（中略）

取締役の契約上の利益

（中略）

フランス法上、通常の業務において締結された通常の条件でない関連当事者間取引は、最終的に、かかる取引に関する法定監査人の特別報告書が提供された後の年次株主総会（又はこれに関して開催されたその他の定時株主総会）に出席し、又はこれに代理出席した株主の過半数票により承認されなければならない。利害関係者はかかる投票に参加することができず、その有する株式は、当該投票に係る定足数及び多数決の計算において算入されない。ただし、フランス法に基づき、かかる関連当事者間取引は、取締役会の承認を得た場合には有効となる。かかる取締役会の事前承認がない場合、次の株主総会において承認されない限り、当行にとって不利益ないかなる契約も無効であると宣言することができる。利害関係者はまた、民事責任を負う。一度取締役会により正式に承認されると、（不正行為として失効させられない限り）関連当事者間取引は有効で、次回の株主総会において承認されなかったとしても、第三者に対する効力を有し続ける。利害関係者及び（必要な場合には）その他の取締役は、この場合、かかる取引の結果当行が被った損失に対して責任を負う。

（後略）

（2）【提出会社の定款等に規定する制度】

＜訂正前＞

（前略）

経営
(a) 取締役会（定款第９条及び第11条）
（ⅰ）取締役会の構成

（中略）

取締役は定時株主総会によって選任される。ただし、死亡又は辞職により、単数又は複数の取締役の職に欠員が出た場合は、次回定時株主総会までに追認されることを条件として、それぞれの前任者の任期の残存期間を任期として取締役会による補欠の選任を行うことができる。

（中略）

(c) 監査人（定款第18条）

（中略）

取締役会は、その直後に開催される定時株主総会までに追認されることを条件として、監査人を仮に選任することができる。

（後略）

＜訂正後＞

（前略）

経営
(a) 取締役会（定款第９条及び第11条）
(ｉ) 取締役会の構成

（中略）

取締役は定時株主総会によって選任される。ただし、死亡又は辞職により、単数又は複数の取締役の職に欠員が出た場合は、次の定時株主総会で追認されることを条件として、それぞれの前任者の任期の残存期間を任期として取締役会による補欠の選任を行うことができる。

（中略）

(c) 監査人（定款第18条）

（中略）

取締役会は、その直後に開催される定時株主総会で追認されることを条件として、監査人を仮に選任することができる。

（後略）

第２ 【企業の概況】

３ 【事業の内容】

＜訂正前＞

（前略）

ナティクシスの事業分野

（中略）

(c) 専門金融サービス

（中略）

③ リース

Natixis Leaseは、フランスのリース市場における主たる事業者である。この会社は、企業及びその他の専門家に対して、そのすべての設備及び不動産リースの投資プロジェクトに係る支援を行っている。社会経済及び機関の事業者もNatixis Leaseの顧客である。Natixis Leaseは、ナティクシスの子会社であり、設備及び不動産のリース、長期自動車リース、再生可能エネルギー関連融資及びITオペレーションのリースに関する市場において、最も幅広い統合的ソリューションの１つを開発し、流通させている。

（後略）

＜訂正後＞

（前略）

ナティクシスの事業分野

（中略）

(c) 専門金融サービス

（中略）

③ リース

Natixis Leaseは、フランスのリース市場における主たる事業者である。この会社は、企業及びその他の専門家に対して、そのすべての設備及び不動産リースの投資プロジェクトに係る支援を行っている。社会経済及び機関の事業者もNatixis Leaseの顧客である。Natixis Leaseは、ナティクシスの子会社であり、設備及び不動産のリース、長期自動車リース、再生可能エネルギー関連融資及びITオペレーションのリースに関する市場において、最も幅広い統合的ソリューションの１つを開発し、流通させている。また、顧客貸出金の手配及びシンジケートも行っている。

（後略）

５ 【従業員の状況】

＜訂正前＞

（前略）

(3) 従業員との関わり

（中略）

2014年の重要事象
新規従業員の満足度調査

ナティクシスは、2014年に３度目の年次意見調査を実施した。調査を受けた従業員の81%が、将来に対して楽観的（2013年比で13%増）であり、51%が当行の戦略は正しい方向に向かっていると考えている（2012年比で10ポイント増）という結果となった。顧客重視の姿勢は深く根付いている（参加者の77%がより良いサービスを提供することは広く共有されている懸念事項であると考えている。）が、顧客満足度に関する情報は、不十分であると考えられている（48%が十分に情報を与えられていると答えた。）。労働条件は、内容、雰囲気、自主性及び家庭と仕事のバランスに関して満足であると考えられている（満足であると答えた参加者はそれぞれ76%、74%、72%及び69%であった。）が、研修及びキャリア展開に関しては進展が必要である。

（後略）

＜訂正後＞

（前略）

(3) 従業員との関わり

（中略）

2014年の重要事象

新規従業員の満足度調査

ナティクシスは、2014年に３度目の年次意見調査を実施した。調査を受けた従業員の81%が、将来に対して楽観的（2013年比で13%増）であり、51%が当行グループの戦略は正しい方向に向かっていると考えている（2012年比で10ポイント増）という結果となった。顧客重視の姿勢は深く根付いている（参加者の77%がより良いサービスを提供することは広く共有されている懸念事項であると考えている。）が、顧客満足度に関する情報は、不十分であると考えられている（48%が十分に情報を与えられていると答えた。）。労働条件は、内容、雰囲気、自主性及び家庭と仕事のバランスに関して満足であると考えられている（満足であると答えた参加者はそれぞれ76%、74%、72%及び69%であった。）が、研修及びキャリア展開に関しては進展が必要である。

（後略）

第３ 【事業の状況】

４ 【事業等のリスク】

＜訂正前＞

（前略）

(2) リスク要因

ナティクシスは、以下の分野に分類できる様々な異なるリスク要因にさらされている。

- **マクロ経済環境及び金融危機に関連するリスク**
- **BPCEに関連するリスク**

（中略）

(3) ガバナンス及びリスク管理システム

（中略）

(c) リスク類型論

（中略）

総合的な金利リスク

（中略）

大半のコーポレート銀行兼投資銀行と同様に、ナティクシスは構造的な為替相場ポジションが生じる資産及び負債をほとんど有していない。ナティクシスの総合的な金利リスクは基本的に直線的で、ユーロ及び米ドルの影響下にあり、契約上の取引に関連する。最も重要なポジションは、イールドカーブのショートエンドに対するエクスポージャーに関するもので、主にIBOR（銀行間取引金利）の更新日の時間差に連動する。したがって、銀行レベルでは２次的リスクとして分類される。

（中略）

(4) 資本管理及び自己資本

（中略）

(c) 資本の構成

（中略）

その他Tier１（AT1）
その他Tier１は、下記より構成される。
・　移行アレンジの適用後に追加Tier１資本として認識される劣後負債性商品
・　普通株式等Tier１資本に適用された移行アレンジにより当該カテゴリーに行われた控除
・　その他Tier２資本（下記を参照のこと。）の超過分の控除

（中略）

(5) 信用リスク及び取引相手方リスク（カントリーリスクを含む。）

（中略）

(d) 格付手法のパフォーマンスの監視及び過去のデータによる検証試験

（中略）

② 発展的手法による内部LGD、CCF及びELBEの監視及び過去のデータによる検証試験

（中略）

過去のデータによる検証試験及び報告は、リスク担当部長及びグループ・リスク・スタンダード・アンド・メソッド委員会（BPCE CNMRG）に対して報告され、年に１度規制当局に送付される。

（中略）

(g) 信用リスク・エクスポージャー

（中略）

残余期間及び資産クラス別のEAD
債権、株式及び証券化のポジションを表章しない他の項目は除く。

(単位：百万ユーロ)

エクスポージャーの分類		３ヶ月以内	１年以内	２年以内	５年以内	５年超	合計
	中小企業及びSF以外	29,392	19,091	10,791	28,354	8,492	96,120
	専門的ファイナンス（SF）	706	1,322	1,628	3,538	8,080	15,274
企業	中小企業	240	383	352	822	852	2,649
小計		30,338	20,796	12,771	32,714	17,424	114,043
機関		22,231	44,359	7,717	10,728	21,240	106,275
	中央政府及び中央銀行	63,232	1,604	360	3,914	4,861	73,971
	地域政府又は地方自治体	11	17	9	167	628	832
中央政府及び中央銀行	公共部門事業体	14	16	17	112	571	730
小計		63,257	1,637	386	4,193	6,060	75,533
	中小企業以外	195	2,006	33	305	65	2,604
リテール	中小企業	383	37	84	403	134	1,041
小計		578	2,043	117	708	199	3,645
不動産抵当付エクスポージャー		8	33	53	331	2,118	2,543

短期格付を有する期間及び法人に対するエクスポージャー	**1,539**	**383**				**1,922**
デフォルト時エクスポージャー	**1**	**148**	**57**	**611**	**53**	**870**
合　計（2014年12月31日現在）	**117,952**	**69,399**	**21,101**	**49,285**	**47,094**	**304,831**
合　計（2013年12月31日現在）*	**104,669**	**59,052**	**18,783**	**50,841**	**50,595**	**283,940**

（中略）

エクスポージャーの分類及び内部格付別のEAD

証券化及びその他事項を控除後、IRB-A方式を用いたエクスポージャーのみ。

		エクスポージャー					
(単位：百万ユーロ) **種類**	**格付**	**合計**	**うち、バランスシート**	**うち、オフバランスシート**	**EAD**	**RWA**	**リスク加重**
企業 (a)							
	AAA	207	172	35	182	12	6.8%
	AA+	423	23	400	419	20	4.7%
	AA	2,725	1,202	1,523	2,198	181	8.2%
	AA-	2,456	1,292	1,164	2,103	217	10.3%
	A+	9,948	3,340	6,608	8,068	868	10.8%
	A	9,048	1,348	7,700	5,055	731	14.5%
	A-	11,688	2,869	8,819	8,382	1,868	22.3%
	BBB+	9,850	3,554	6,296	7,744	2,347	30.3%
	BBB	18,000	8,305	9,695	13,325	4,293	32.2%
	BBB-	15,137	8,475	6,662	12,900	4,908	38.0%
	BB+	9,367	4,594	4,773	7,620	3,888	51.0%
	BB	7,591	4,964	2,627	6,479	3,476	53.6%
	BB-	4,868	2,815	2,053	4,176	2,790	66.8%
	B+/CC-	7,083	4,221	2,862	5,800	4,301	74.2%
	C	28	24	4	28	44	156.7%
	D	4,446	3,592	854	4,291	1,966	45.8%
小計		**112,865**	**50,790**	**62,075**	**88,770**	**31,910**	**35.9%**
中央政府及び中央銀行							
	AAA	290	104	187	290		
	AA+	60,359	54,461	3,898	60,359		
	AA-	3,479	2,292	1,187	3,354		
	A	2,769	885	1,884	2,711	33	1.2%
	BBB+	366	293	73	344	43	12.5%
	BBB-	202	134	68	202	56	27.5%
	BB	22		22	22	1	5.0%
	BB-	373	360	13	363	335	92.4%
	B+/CC-	38	37	1	37	140	373.6%
	D	52	52		52		
小計		**67,950**	**60,617**	**7,333**	**67,734**	**608**	**0.9%**
機関 (a)							
	AAA	113		113	112	3	2.8%
	AA+	447	13	434	447	27	6.1%
	AA	298	194	104	297	26	8.8%
	AA-	1,561	359	1,202	1,537	63	4.1%
	A+	4,933	653	4,280	3,925	233	5.9%
	A	7,403	2,597	4,806	7,099	744	10.5%
	A-	5,558	1,089	4,469	5,398	1,069	19.8%
	BBB+	2,965	311	2,654	2,917	1,081	37.0%
	BBB	1,642	462	1,180	1,380	650	47.1%

	BBB-	1,621	1,112	509	1,427	1,102	77.2%
	BB+	330	146	184	253	284	112.5%
	BB	173	53	120	146	212	144.7%
	BB-	13	1	12	7	18	237.7%
	B+/CC-	238	71	167	132	322	243.7%
	D	296	296		296		
小計		**27,591**	**7,357**	**20,234**	**25,373**	**5,834**	**23.0%**
ジェネリック(b)及び格付なし(a)第三者		**3,843**	**1,633**	**2,210**	**2,450**	**2,887**	**117.8%**
合　計		**212,249**	**120,397**	**91,852**	**184,327**	**41,239**	**22.4%**

(a)　格付けされていないGroupe BPCEの子会社へのエクスポージャーは除く（62十億ユーロ）。
(b)　同種のリスクのクラスに分類をされた第三者。

（中略）

IRBを用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別の平均加重

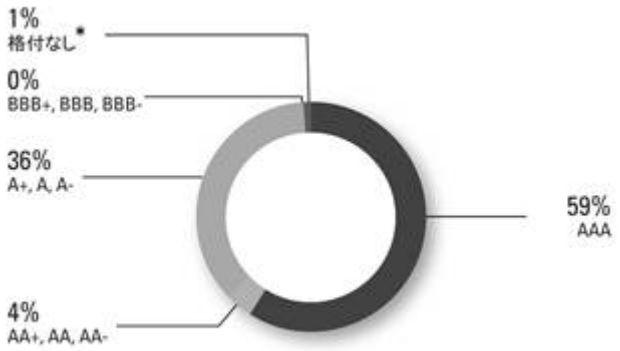
以下の表は、内部格付方式（IRB）を用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別にリスクに関するエクスポージャーの内訳を示している。ただし、以下を控除後とする。

- 株式に対するエクスポージャー（単純加重手法により計算）
- 共同出資ベースのエクスポージャー（取得したポートフォリオ）及び同種のリスクのクラスに分類された第三者
- 証券化ポジション
- Group BPCEの子会社のエクスポージャー

（中略）

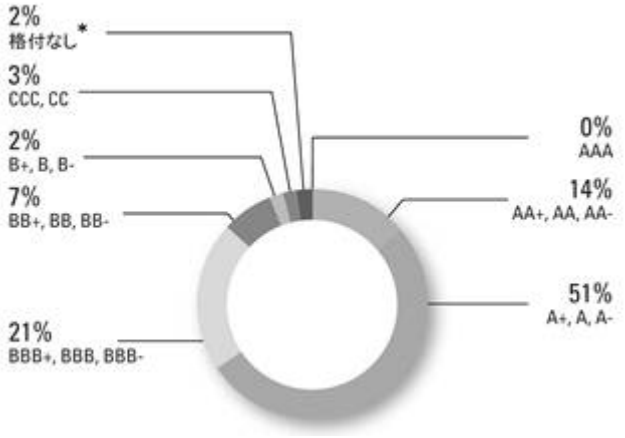
タイプ別及び保証人の内部格付別の保証付エクスポージャー（S&Pに相当）

■ 機関



** Groupe BPCEの子会社へのエクスポージャーは除く。*

■ 企業



* *Groupe BPCEの子会社へのエクスポージャーは除く。*

（中略）

(i) 銀行帳簿の株式エクスポージャー

（中略）

未実現損益

(単位：百万ユーロ) **資産**	**費用又は原価**	**公正価値若しくは調整値又は推定費用**	**未実現純損益**	**未実現純利益**	**未実現純損失**
損益勘定を通じて公正価値で評価された金融資産	1,906	1,875	(31)		(31)
売却可能金融資産	1,075	1,250	175	175	
合　計（2014年12月31日現在）	**2,981**	**3,125**	**144**	**175**	**(31)**
合　計（2013年12月31日現在）*	**3,816**	**4,006**	**191**	**191**	**0**

（中略）

(9) 総合的な金利リスク、流動性リスク、構造的な為替リスク

（中略）

(d) 流動性リスク及びリファイナンス戦略

（中略）

⑤ 流動性バッファー

（中略）

- 日中の決済を確保するために担保が付された中央銀行の業務の対象となる流動性資産の準備金。この比較的安定した準備金は、中央銀行の法定通貨に適格な有価証券及び債権により構成されており、パリ（プール3Gに約４十億ユーロ）及びニューヨーク（FBRのディスカウント・ウィンドウに約３十億ユーロ）に拠点をおいている。

（後略）

＜訂正後＞

（前略）

(2) リスク要因

ナティクシスは、以下の分野に分類できる様々な異なるリスク要因にさらされている。

- マクロ経済環境及び金融危機に関連するリスク
- BPCEとの関係に関連するリスク

（中略）

(3) ガバナンス及びリスク管理システム

（中略）

(c) リスク類型論

（中略）

総合的な金利リスク

（中略）

大半のコーポレート銀行兼投資銀行と同様に、ナティクシスは構造的な金利ポジションが生じる資産及び負債をほとんど有していない。ナティクシスの総合的な金利リスクは基本的に直線的で、ユーロ及び米ドルの影響下にあり、契約上の取引に関連する。最も重要なポジションは、イールドカーブのショートエンドに対するエクスポージャーに関するもので、主にIBOR（銀行間取引金利）の更新日の時間差に連動する。したがって、銀行レベルでは２次的リスクとして分類される。

（中略）

(4) 資本管理及び自己資本

（中略）

(c) 資本の構成

（中略）

その他Tier１（AT1）

その他Tier１は、下記より構成される。

- 移行アレンジの適用後にその他Tier１として認識される劣後負債性商品
- 普通株式等Tier１資本に適用された移行アレンジにより当該カテゴリーに行われた控除
- Tier２資本（下記を参照のこと。）の超過分の控除

（中略）

(5) 信用リスク及び取引相手方リスク（カントリーリスクを含む。）

（中略）

(d) 格付手法のパフォーマンスの監視及び過去のデータによる検証試験

（中略）

② 発展的手法による内部LGD、CCF及びELBEの監視及び過去のデータによる検証試験

（中略）

過去のデータによる検証試験の報告及び検討は、リスク担当部長及びグループ・リスク・スタンダード・アンド・メソッド委員会（BPCE CNMRG）に対して報告され、年に１度規制当局に送付される。

（中略）

(g) 信用リスク・エクスポージャー

（中略）

残余期間及び資産クラス別のEAD

債権、株式及び証券化のポジションを表章しない他の項目は除く。

(単位：百万ユーロ) エクスポージャーの分類		３ヶ月以内	１年以内	２年以内	５年以内	５年超	合計
	中小企業及びSF以外	29,392	19,091	10,791	28,354	8,492	96,120
	専門的ファイナンス（SF）	706	1,322	1,628	3,538	8,080	15,274
企業	中小企業	240	383	352	822	852	2,649
小計		30,338	20,796	12,771	32,714	17,424	114,043
機関		22,231	44,359	7,717	10,728	21,240	106,275
	中央政府及び中央銀行	63,232	1,604	360	3,914	4,861	73,971
	地域政府又は地方自治体	11	17	9	167	628	832
中央政府及び中央銀行	公共部門事業体	14	16	17	112	571	730
小計		63,257	1,637	386	4,193	6,060	75,533
	中小企業以外	195	2,006	33	305	65	2,604
リテール	中小企業	383	37	84	403	134	1,041
小計		578	2,043	117	708	199	3,645
不動産抵当付エクスポージャー		8	33	53	331	2,118	2,543
短期格付を有する機関及び法人に対するエクスポージャー		1,539	383				1,922
EAD（標準方式）		1	148	57	611	53	870
合　計（2014年12月31日現在）		117,952	69,399	21,101	49,285	47,094	304,831
合　計（2013年12月31日現在）*		104,669	59,052	18,783	50,841	50,595	283,940

（中略）

エクスポージャーの分類及び内部格付別のEAD

証券化及びその他事項を控除後、IRB-A方式を用いたエクスポージャーのみ。

(単位：百万ユーロ) 種類	格付	エクスポージャー 合計	うち、バランスシート	うち、オフバランスシート	EAD	RWA	リスク加重
企業 (a)							
	AAA	207	172	35	182	12	6.8%

	AA+	423	23	400	419	20	4.7%
	AA	2,725	1,202	1,523	2,198	181	8.2%
	AA-	2,456	1,292	1,164	2,103	217	10.3%
	A+	9,948	3,340	6,608	8,068	868	10.8%
	A	9,048	1,348	7,700	5,055	731	14.5%
	A-	11,688	2,869	8,819	8,382	1,868	22.3%
	BBB+	9,850	3,554	6,296	7,744	2,347	30.3%
	BBB	18,000	8,305	9,695	13,325	4,293	32.2%
	BBB-	15,137	8,475	6,662	12,900	4,908	38.0%
	BB+	9,367	4,594	4,773	7,620	3,888	51.0%
	BB	7,591	4,964	2,627	6,479	3,476	53.6%
	BB-	4,868	2,815	2,053	4,176	2,790	66.8%
	B+/CC-	7,083	4,221	2,862	5,800	4,301	74.2%
	C	28	24	4	28	44	156.7%
	D	4,446	3,592	854	4,291	1,966	45.8%
小計		**112,865**	**50,790**	**62,075**	**88,770**	**31,910**	**35.9%**
中央政府及び中央銀行							
	AAA	290	104	187	290		
	AA+	60,359	54,461	3,898	60,359		
	AA-	3,479	2,292	1,187	3,354		
	A	2,769	885	1,884	2,711	33	1.2%
	BBB+	366	293	73	344	43	12.5%
	BBB-	202	134	68	202	56	27.5%
	BB	22		22	22	1	5.0%
	BB-	373	360	13	363	335	92.4%
	B+/CC-	38	37	1	37	140	373.6%
	D	52	52		52		
小計		**67,950**	**60,617**	**7,333**	**67,734**	**608**	**0.9%**
機関 (a)							
	AAA	113		113	112	3	2.8%
	AA+	447	13	434	447	27	6.1%
	AA	298	194	104	297	26	8.8%
	AA-	1,561	359	1,202	1,537	63	4.1%
	A+	4,933	653	4,280	3,925	233	5.9%
	A	7,403	2,597	4,806	7,099	744	10.5%
	A-	5,558	1,089	4,469	5,398	1,069	19.8%
	BBB+	2,965	311	2,654	2,917	1,081	37.0%
	BBB	1,642	462	1,180	1,380	650	47.1%
	BBB-	1,621	1,112	509	1,427	1,102	77.2%
	BB+	330	146	184	253	284	112.5%
	BB	173	53	120	146	212	144.7%
	BB-	13	1	12	7	18	237.7%
	B+/CC-	238	71	167	132	322	243.7%
	D	296	296		296		
小計		**27,591**	**7,357**	**20,234**	**25,373**	**5,834**	**23.0%**
ジェネリック (b) 及び格付なし (a) 第三者		**3,843**	**1,633**	**2,210**	**2,450**	**2,887**	**117.8%**
合　計		**212,249**	**120,397**	**91,852**	**184,327**	**41,239**	**22.4%**

(a)　格付けされていないGroupe BPCEの関連会社へのエクスポージャーは除く（62十億ユーロ）。

(b)　同種のリスクのクラスに分類をされた第三者。

（中略）

IRBを用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別の平均加重

以下の表は、内部格付方式（IRB）を用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別にリスクに関するエクスポージャーの内訳を示している。ただし、以下を控除後とする。

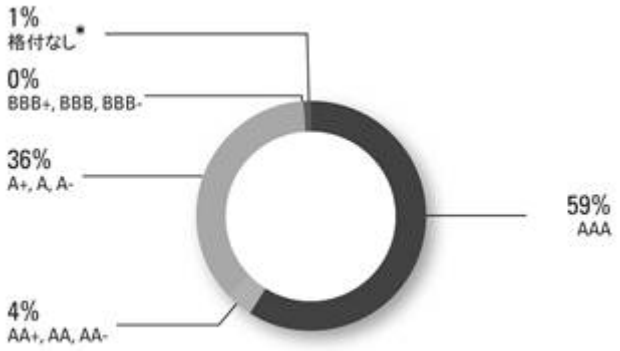
・　株式に対するエクスポージャー（単純加重手法により計算）

- 共同出資ベースのエクスポージャー（取得したポートフォリオ）及び同種のリスクのクラスに分類された第三者
- 証券化ポジション
- Group BPCEの関連会社のエクスポージャー

（中略）

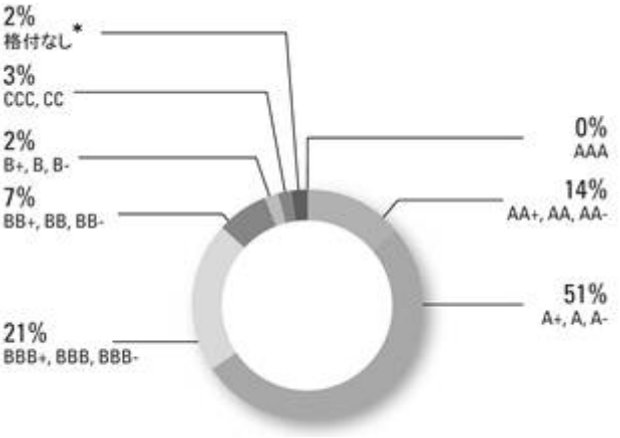
タイプ別及び保証人の内部格付別の保証付エクスポージャー（S&Pに相当）

■ 機関



* *Groupe BPCEの関連会社へのエクスポージャーは除く。*

■ 企業



* *Groupe BPCEの関連会社へのエクスポージャーは除く。*

（中略）

(i) 銀行帳簿の株式エクスポージャー

（中略）

未実現損益

(単位：百万ユーロ) **資産**	**費用又は原価**	**公正価値若しくは調整値又は推定費用**	**未実現純損益**	**未実現総利益**	**未実現総損失**
損益勘定を通じて公正価値で評価された金融資産	1,906	1,875	(31)		(31)
売却可能金融資産	1,075	1,250	175	175	
合　計（2014年12月31日現在）	**2,981**	**3,125**	**144**	**175**	**(31)**
合　計（2013年12月31日現在） *	**3,816**	**4,006**	**191**	**191**	**0**

（中略）

(9) 総合的な金利リスク、流動性リスク、構造的な為替リスク

（中略）

(d) 流動性リスク及びリファイナンス戦略

（中略）

⑤ 流動性バッファー

（中略）

- 日中の決済を確保するために担保が付された中央銀行の業務の対象となる流動性資産の準備金。この比較的安定した準備金は、中央銀行の法定通貨に適格な有価証券及び債権により構成されており、パリ（プール3Gに約４十億ユーロ）及びニューヨーク（FBRのディスカウント・ウィンドウに約３十億ドル）に拠点をおいている。

（後略）

７ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

＜訂正前＞

（前略）

(1) 2014年12月31日に終了した事業年度
(a) 2014年12月31日現在の経営報告書

（中略）

③ 連結決算

（中略）

純収益

（中略）

市場活動において、債券、信用、外国為替、コモディティ及び資金のプラットフォームによる収益は、2013年と比べて19.9%減少した。純収益に含まれる経常外項目(注３)の修正後は、2.3%の減少であった。エクイティ活動による純収益は、前年比で3.4%増加した。

(注１) ナティクシスの自己優先債務の再評価が純収益に及ぼした影響は、2013年のマイナス195百万ユーロと比べて2014年はマイナス208百万ユーロであった。
(注２) 主要業務及び金融投資
(注３) 2013年上半期におけるIFRS第13号の最初の適用（72百万ユーロ増）及び2014年における信用評価調整／債務価値調整／調達評価調整の手法の変更（119百万ユーロ増）

（中略）

④ ナティクシスの事業分野別分析

(中略)

(ii) 投資ソリューション

(中略)

C プライベート・バンキング

(中略)

運用資産は、堅調な流入額及びより少ない割合ではあるが859百万ユーロのプラスの市場効果により、当事業年度において10%超増加して24.7十億ユーロとなった。

(後略)

＜訂正後＞

(前略)

(1) 2014年12月31日に終了した事業年度
(a) 2014年12月31日現在の経営報告書

(中略)

③ 連結決算

(中略)

純収益

(中略)

市場活動において、債券、信用、外国為替、コモディティ及び資金のプラットフォームによる収益は、2013年と比べて19.9%減少した。純収益に含まれる経常外項目(注３)の修正後は、2.3%の減少であった。エクイティ活動による純収益は、前年比で3.4%増加した。

(注１) ナティクシスの自己優先債務の再評価が純収益に及ぼした影響は、2013年のマイナス195百万ユーロと比べて2014年はマイナス208百万ユーロであった。
(注２) 主要業務及び金融投資
(注３) 2013年上半期におけるIFRS第13号の最初の適用（72百万ユーロ増）及び2014年における信用評価調整／債務価値調整／調達評価調整の手法の変更（119百万ユーロ減）

(中略)

④ ナティクシスの事業分野別分析

(中略)

(ii) 投資ソリューション

(中略)

C プライベート・バンキング

（中略）

運用資産は、堅調な流入額及びより少ない割合ではあるが859百万ユーロのプラスの市場効果により、当事業年度において10%増加して24.7十億ユーロとなった。

（後略）

第５ 【提出会社の状況】

５ 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

（１）【コーポレート・ガバナンスの状況】

＜訂正前＞

(1) コーポレート・ガバナンスの管理及び監督

(a) 取締役会

（中略）

③ 2014年における取締役会の業績

（中略）

ナティクシスの財務、現金及びコミットメントの状態	・ 四半期及び半期の財務書類の検討及び年次財務書類（親会社及び連結の）の検討 ・ 2015年度予算の検討及び承認 ・ 経済的検討及びベンチマークの検討／事業見直し／株式の残存期間 ・ プレス・リリースの検討及び承認 ・ 取締役会の経営報告書の採択 ・ 資本増強の権限の使用に関する取締役会報告書の採択 ・ 資産査定（AQR）の定期的な更新 ・ GAPCの終了に関する検討

（中略）

(b) 専門委員会：取締役会の派生

（中略）

③ 報酬委員会（注１）

（中略）

B 役割及び権限

ナティクシスの報酬委員会の役割には、報酬に関してナティクシスの取締役会が発表する決定についての準備があり、かかる報酬には当行のリスクに影響を与えるナティクシスの従業員についてのものを含む。報酬委員会の権限及び業務手順については、社内規定に詳述されており、その最新版は2014年12月17日に承認された。

（中略）

(3) 内部統制手続及びリスク管理手続に関する取締役会会長の報告

（中略）

(g) 定期的な統制

（中略）

内部監査部門は、ナティクシス全体（親会社、子会社及び支店）にわたり監査業務を行い、多様な事業活動が行われることにより生じるあらゆる種類のリスクを網羅する。当部門は、すべての情報（機密か機密でないかを問わず）を完全且つ無制限に入手できる。その調査領域は、ナティクシスの業務活動のすべて（ワークアウト・ポートフォリオ・マネージメント活動を含む。）、ナティクシスの職務部門（特に事業体において永久統制任務を担当する職務部門を含む。）及び外部委託活動を含む。すべての事業分野において、当部門は、業務が行われる経路である営業担当から事務管理担当への取次過程に加え、業務の詳細な分析を行う。かかる分析は、監査過程における既存の統制のポイントの維持の評価、また、関連する活動より生じるリスクの評価につながる。かかる助言は優先順位に従って評価される。

（後略）

＜訂正後＞

(1) コーポレート・ガバナンスの管理及び監督

(a) 取締役会

（中略）

③ 2014年における取締役会の業績

（中略）

ナティクシスの財務、現金及びコミットメントの状態	・ 四半期及び半期の財務書類の検討及び年次財務書類（親会社及び連結の）の承認 ・ 2015年度予算の検討及び承認 ・ 経済的検討及びベンチマークの検討／事業見直し／株式の残存期間 ・ プレス・リリースの検討及び承認 ・ 取締役会の経営報告書の採択 ・ 資本増強の権限の使用に関する取締役会報告書の採択 ・ 資産査定（AQR）の定期的な更新 ・ GAPCの終了に関する検討

（中略）

(b) 専門委員会：取締役会の派生

（中略）

③ 報酬委員会（注１）

（中略）

B 役割及び権限

ナティクシスの報酬委員会の役割には、報酬に関してナティクシスの取締役会が発表する決定についての準備があり、かかる報酬には当行のリスクに影響を与えるナティクシスの従業員についてのものを含む。報酬委員会の権限及び業務手順については、社内規定に詳述されており、その最新版は2014年12月17日に取締役会により承認された。

（中略）

(3) 内部統制手続及びリスク管理手続に関する取締役会会長の報告

（中略）

(g) 定期的な統制

（中略）

内部監査部門は、ナティクシス全体（親会社、子会社及び支店）にわたり監査業務を行い、多様な事業活動が行われることにより生じるあらゆる種類のリスクを網羅する。当部門は、すべての情報（機密か機密でないかを問わず）を完全且つ無制限に入手できる。その調査領域は、ナティクシスの業務活動のすべて（ワークアウト・ポートフォリオ・マネージメント活動を含む。）、ナティクシスの職務部門（特に事業体において永久統制任務を担当する職務部門を含む。）及び外部委託活動を含む。すべての事業分野において、当部門は、業務が行われる経路である営業担当から事務管理担当への取次過程に加え、業務の詳細な分析を行う。かかる分析は、監査過程における既存の統制のポイントの維持の評価、また、関連する活動より生じるリスクの評価につながる。それらは、監査されるリスクを統制又は管理するためのメカニズムの包括性及び頑健性を強化する助言へとつながる。かかる助言は優先順位に従って評価される。

（後略）